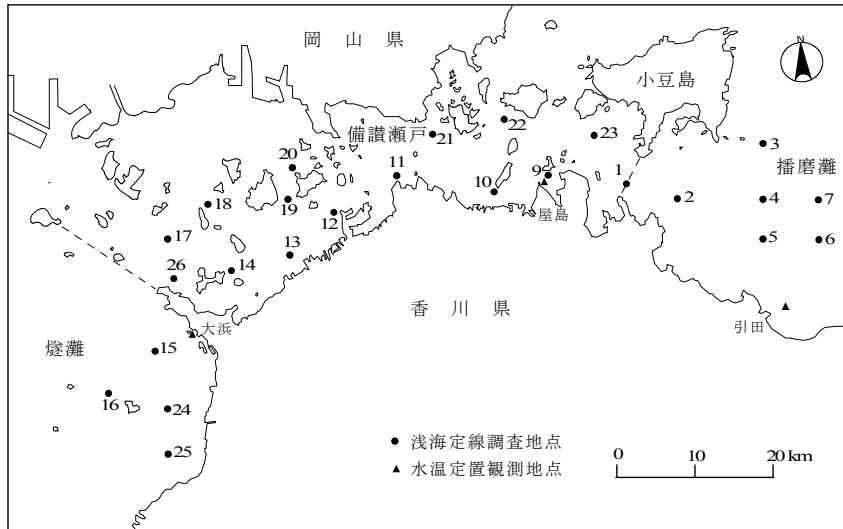


香川県漁海況速報 平成 21 年 5 月 (H21-2 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 21 年 5 月 8 日 (播磨灘)、7 日 (備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「かなり高めから著しく高め」、塩分は「やや高め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「やや低めからやや高め」であった。

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	15.3	15.0	13.7	32.6	32.8	32.9	11.0	5.76	5.48
	平年値	14.1	13.2	12.1	32.2	32.3	32.4	8.4	6.06	5.43
	平年偏差	1.2	1.8	1.6	0.4	0.5	0.5	2.6	-0.31	0.06
	状 況	かなり高め 著しく高め 著しく高め			やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	15.7	15.7	15.6	33.2	33.2	33.2	5.2	5.42	5.38
	平年値	14.1	13.8	13.7	32.5	32.5	32.5	5.7	5.64	5.59
	平年偏差	1.6	1.9	1.9	0.7	0.7	0.7	-0.4	-0.22	-0.22
	状 況	著しく高め 著しく高め 著しく高め			やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	やや低め
燧 灘	4地点平均値	17.2	14.8	14.3	33.3	33.4	33.5	9.5	5.68	5.55
	平年値	15.6	13.6	12.6	32.8	32.9	33.1	10.3	5.73	5.17
	平年偏差	1.6	1.2	1.7	0.5	0.5	0.4	-0.9	-0.05	0.38
	状 況	かなり高め	かなり高め	著しく高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

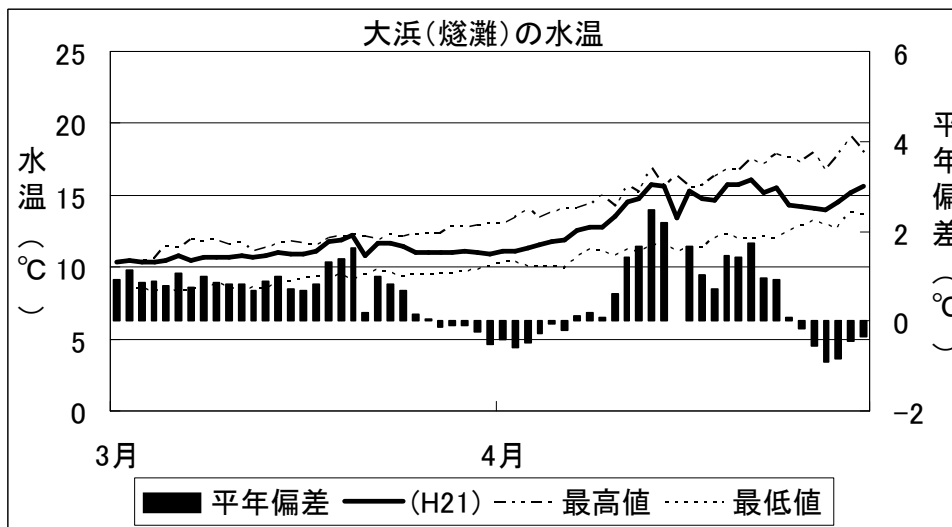
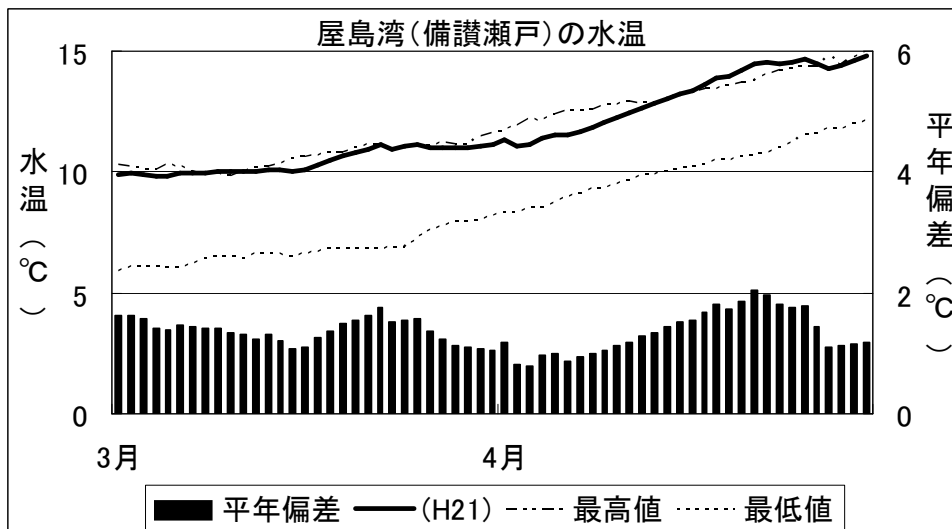
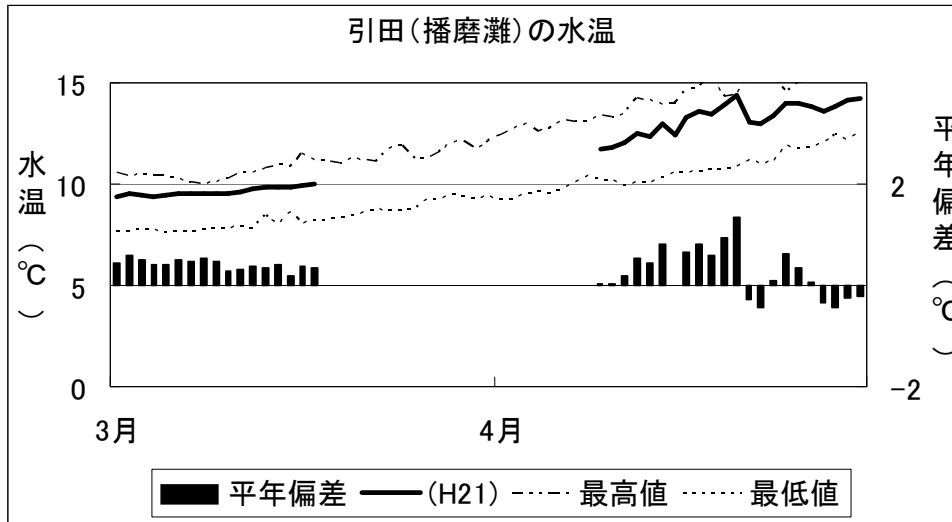
播磨灘 (引田) : 2月以降平年並みからやや高めで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 2月以降著しく高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 2月以降やや高めで推移し、3月下旬から4月上旬にはやや低めとなり、その後、著しく高めで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 20 (2008) 年

屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 20 (2008) 年



4) 赤潮 (4月15日～5月25日)

播磨灘：発生なし。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成21年5月8日 (播磨灘)、7日 (備讃瀬戸、燧灘)
 出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	75.1	30.5	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	8.4
	平年値	10.6	0.3	3.3	0.1				
	対平年 (%)	712	10,167	0	0				
備讃瀬戸	平均値	3.1	1.1	0.0	0.0	0.1	0.0	32.1	7.8
	平年値	1.2	0.3	0.2	0.2				
	対平年 (%)	272	452	0	0				
燧灘	平均値	127.1	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.1	2.0
	平年値	43.7	2.9	1.3	0.9				
	対平年 (%)	291	386	0	0				
総平均	平均値	51.3	11.3	0.0	0.0	0.1	0.0	32.7	6.6
	平年値	28.8	2.1	1.3	0.3				
	対平年 (%)	178	537	0	0				

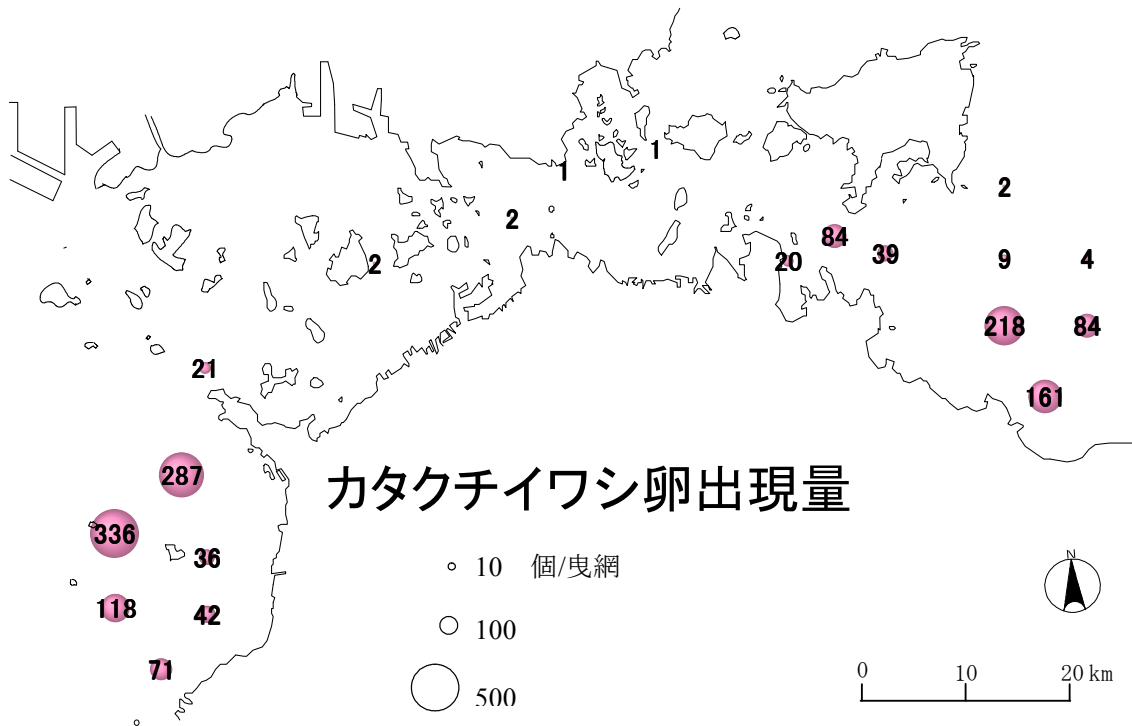
ー：平年値が0の場合を示す。(サワラ及びその他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成20年(2008)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成20年(2008)年度

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



2. 漁況

4月からの漁況は次のとおりである

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、テナガダコ、ガザミ、イカ類が漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>柵網では主にマダイ、スズキ、サバ、イカ類が漁獲されている。</p> <p>建網では主にカサゴ、メバルが漁獲されている。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月20日から操業が開始され、4月のサワラ及びサゴシの漁獲量は前年を上回っている。</p> <p>東讃におけるシラスの船曳網は5月23日から操業が開始されたが、不漁だった前年を大きく上回っている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マアナゴ、マダイ、ウマヅラハギ、マダコが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網は、3月で漁期が終了し、過去最低の漁獲量であった。サワラ流し刺し網は4月25日から操業が開始され、4月のサゴシの漁獲量は前年を大きく上回っている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にスズキ、マダイ、クロダイ、タチウオ、ウマヅラハギ、小エビ類、イカ類が漁獲されているが、小エビ類が少ない。</p> <p>柵網ではマダイ、クロダイ、スズキ、ウマヅラハギ、キジハタ、イカ類が漁獲されている。</p> <p>さより機船船びき網の漁獲量は前年とほぼ同様の200kg/日・隻前後で、大きさは中型が主体となっている。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月20日から操業が開始され、4月のサワラ及びサゴシの漁獲量は前年を大きく上回っている。</p>